

会員研修・ビジネス委員会 基本方針（案）

会員研修・ビジネス委員会 委員長 松尾 陽介

1 昨年からの新型コロナウィルス感染症の拡大は、佐賀青年会議所の活動のみならず、各
2 会員の仕事や生活にもさまざまな影響を及ぼしています。これらの影響は、会員の出席率、
3 活動意欲低下に繋がり、さらに組織力の低下、事業縮小を招くこととなります。ニューノ
4 ーマルといわれるライフスタイルの変化は、テレワーク、新しいデジタルツールの活用を
5 急速に発展させました。このような社会情勢の中、佐賀青年会議所は人財の確保のみなら
6 ず、現役会員の資質向上を目指し、他団体と協働し、時代の変化に合わせた事業の形を創
7 り出す必要があります。

8 まずは、JC活動の参加を促すために個人の社会貢献活動の見える化を実現するアクトコ
9 インを使用することで、会員のモチベーションに繋げます。そして、アクトコインの内外
10 の利用者を増やし、より有効性を高めるために、オンラインなどを積極的に活用し、佐賀
11 青年会議所のみに留まらず、佐賀の他団体、他企業と連携した地域活動を行うことで、地
12 域活動する人の増加や周知等の社会的活動が広がるメリットとなることを示します。また、
13 このアクトコイン等を使用した事業を次年度以降も継続して行うことができる事業とする
14 ために、マニュアルの作成、情報の共有をおこなうことで、特定の会員のみが理解してい
15 るのではなく、次年度委員会、他の委員会も事業にアクトコインを紐付けすることができ
16 る仕組みづくりを目指します。

17 大きな転換期を迎えた今、佐賀青年会議所だからこそできる挑戦と魅力を高めるために、
18 時代に合わせた人財づくりを行うとともに、地域振興の取り組みを継続し、佐賀の地域振
19 興を担う一翼として協働することで、新しい時代を切り拓いていきます。
20

21 [事業計画]

- 22 1. 新入会員並びに会員研修の企画・運営（通年）
- 23 2. ビジネス事業の企画・運営（7月）
- 24 3. 厄入厄払の企画・運営（1月）
- 25 4. 例会の企画・運営（4月、11月）
- 26 5. 全国大会宇都宮大会参加者への支援（10月）
- 27 6. シニア交流事業の企画・運営（6月）
- 28 7. 会員拡大 拡大目標 委員会5名（通年）